

2021 年度 消費者志向宣言 フォローアップ活動

2021 年 12 月 12 日

事業者名 山陽物産株式会社

代表者名 武内 英治

(1) 経営理念

夢への挑戦

- ・アメニティグッズを通して、喜びと快適を提供する
- ・お客様にとってオンリーワン企業となる
- ・ひとりひとりの笑顔のために、高い志を持ってベストを尽くす

(2) 山陽物産株式会社消費者志向宣言 取組方針

- ① 経営トップのコミットメント
- ② コーポレートガバナンスの確保
- ③ 従業員の積極活動
- ④ 消費者への情報提供の充実
- ⑤ 消費者・社会の要望を踏まえた改善・開発

(3) 取組報告

2021 年度の消費者志向宣言に関する取り組みにつきまして、以下の通りご報告いたします。

① 経営トップのコミットメント

「時代の変化に合わせた商品を提供する」の方針に基づき、弊社では衛生用品の取り扱いに注力しました。2020 年 11 月に愛媛県と「需給逼迫時の不織布マスクの県内優先供給に係る協定」を締結し、マスク製造機械を導入。

県内小売店へのマスクの供給および行政機関へのマスク・消毒液の寄付などをおこないました。

関連：2021 年寄付活動 [山陽物産株式会社 \(sanyo-bussan.jp\)](http://sanyo-bussan.jp)
[山陽物産株式会社 \(sanyo-bussan.jp\)](http://sanyo-bussan.jp)
[山陽物産株式会社 \(sanyo-bussan.jp\)](http://sanyo-bussan.jp)

② コーポレートガバナンスの確保

自社でクレームが発生した際は、「クレーム報告書」を都度作成しています。

「クレーム対策委員会」を発足し、月に 1 度の会議は全 12 回開催しました。

クレーム委員会から社員全員にクレーム事例報告と共有・意見交換の場を設け、お客様のご意見を社員全員で共有しております。

③ 従業員の積極活動

「5S 委員会を発足し、社内美化の徹底」に基づき、今年は特に衛生・感染予防対策につとめました。感染予防対策として入口へ検温器・アルコールスタンドの設置。社内にオゾン発生器を取り付けました。また、定期的な階段手摺、ドアノブの消毒を行い社員と来社されたお客様に安心して過ごしていただける職場にしました。



サーモカメラ付検温器の設置



アルコールスタンドの設置



オゾン発生器を取り付け

④ 消費者への情報提供の充実

2021年10月23日(土)、エミフルMASAKI開催の「えひめ消費者志向おもいやり経営」のイベントに参加しました。弊社はイベントブースを設置し、環境商品を中心に展示をしました。来場されたお客様に商品の説明を行い積極的な情報提供をおこなうことができました。



⑤ 消費者・社会の要望を踏まえた改善・開発

食用に適さない古米・碎米を使用したホテルアメニティの製造・販売に積極的に取り組んでおります。お米を配合したバイオマスプラスチックを使用したアメニティの開発は業界初の試みとして大きな注目を集めました。

2021年10月に一般家庭用ハブラシとして「キラグリーン」の製造を開始。SDGsや脱プラへの関心が高まる社会に適した商品の提供をおこなえました。

関連：[山陽物産株式会社 \(sanyo-bussan.jp\)](http://sanyo-bussan.jp)

また、海洋プラスチック問題への対策の一環として、地元松前町の塩屋海岸への清掃ボランティアにも参加しました。会社グループ総勢70名でゴミを拾い綺麗な海岸になりました。

